

# 福島第一原子力発電所 労働環境の改善への取り組み

平成26年11月19日

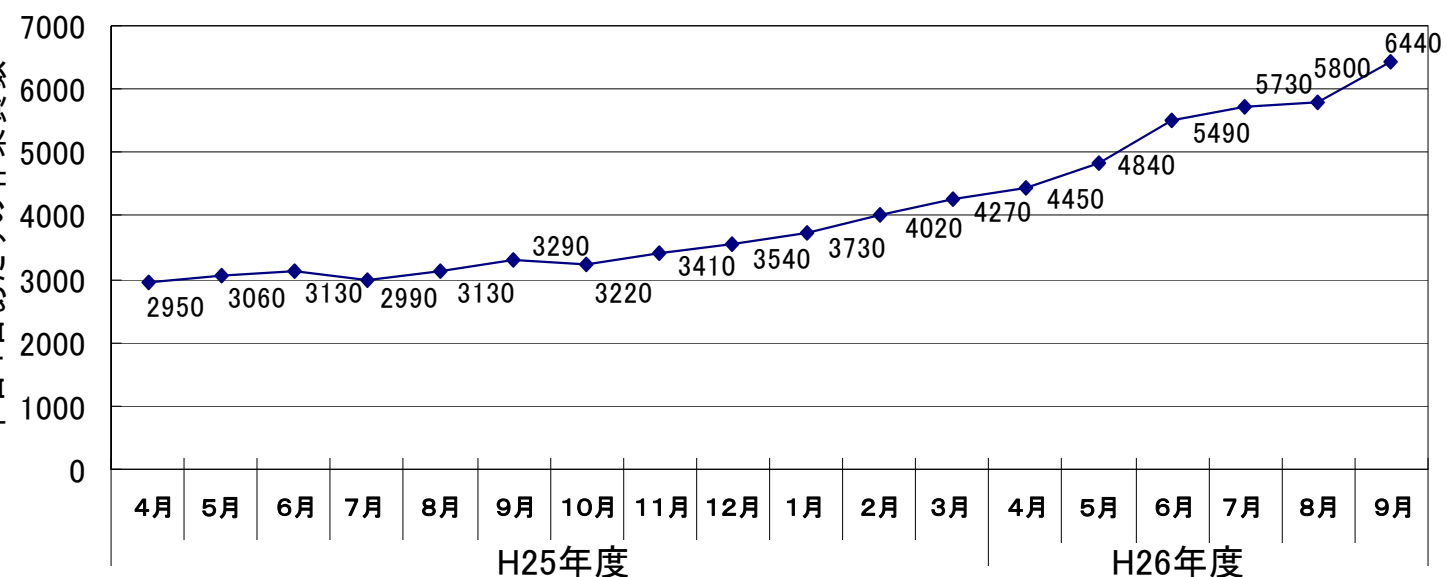
東京電力株式会社

# 労働環境改善に向けた取り組みー1

- 福島第一原子力発電所で作業されている協力企業の方々が、安心して働ける環境作りを目指し、当社として職場の労働環境の改善に取り組んでいます。
- また、協力企業の方々を対象としてアンケートを実施し、現場で作業にあたっていただいている目線からのご意見をいただき、それを踏まえてさらなる改善を進めています。

## 作業員数の推移

- 下記のグラフは、平日1日あたりの作業員数（実績値）の推移です。  
1 1月の作業に想定される人数（協力企業作業員及び東電社員）は、平日1日あたり約6,310人と想定しています。



H25年度以降各月の平日1日あたりの平均作業員数（実績値）の推移

## 被ばく低減への取り組み

### ■作業環境改善

- 作業員の被ばく低減を図るため、敷地内全体の状況を踏まえながら、伐採・表土除去・天地返し等の除染により線量低減を進めており、最終的には事故前の状態に近づけていくことを目指しています。  
また、福島第一で行っているタンク製作を、線量が低く防護装備が不要な福島第二で行い、船で輸送することで、被ばく低減と作業負担の軽減を図る取り組みを進めています。



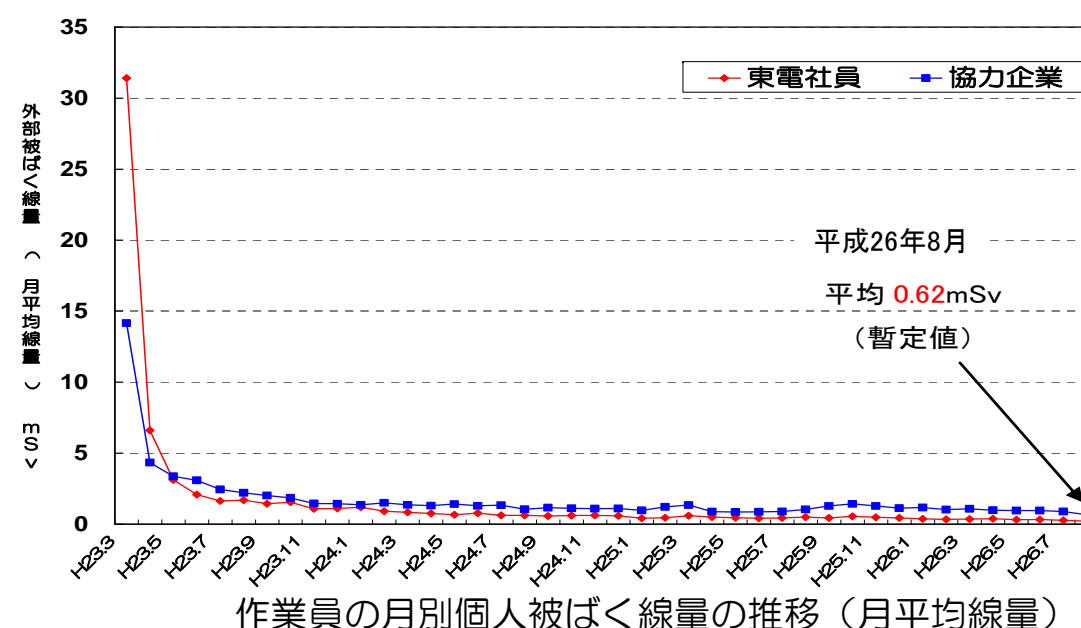
木々の伐採状況



福島第二におけるタンク製作

### ■被ばく管理状況

- 線量低減対策や作業毎の被ばく線量予測に基づいた作業員の配置、配置変更により、作業員の平均被ばく線量は 1mSv/月 程度に抑えられています。
- 大半の作業員の被ばく線量は、年間の線量限度に対して低く抑えられていますが、更なる低減に努めています。  
(法令上の線量限度：50mSv/年かつ100mSv/5年)



<参考>

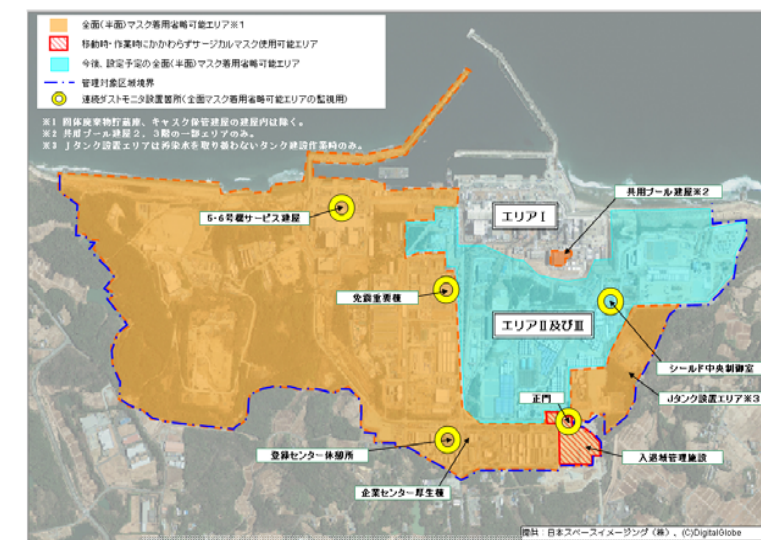
4号機の使用済燃料プールからの燃料取り出しにおける被ばく線量

作業被ばく（平均）  
キャスク仕立作業：約6mSv/人  
燃料移動作業：約4mSv/人

平成25年11月18日から平成26年11月3日までの集計

### ■被ばく低減による効果

- 敷地内の除染を進め、線量低減を図っているほか、全面マスク着用省略可能エリアの拡大に表れているように、内部被ばくのおそれが低くなってきております。また、放射線管理も適切に行えるようになってきています。  
これらのことから、女性の方々に働いて頂けるエリアが、構内全域に広がりました。



全面マスク省略可能エリア



# 労働環境改善に向けた取り組みー2

- 平成25年度に実施したアンケートでは、労働環境に対する協力企業の皆さまの受け止め方や改善のご要望を伺いました。その結果、ご要望が多かった「食事環境」「現場環境」について、改善策として「給食センター」「大型休憩所」の建設を実施しています。
- また、平成26年8月には、再度アンケートを実施しております。アンケートの結果については11月下旬を目途に取りまとめる予定であり、結果がまとまり次第お知らせする予定です。

## 改善対応状況

### ■現場への密着

- 約1,200名が利用できる構内大型休憩所を平成26年度末完成を目指して建設を進めています。
- 福島第一で働く社員や作業員の食生活の改善・充実を図ることを目的として、給食センターの建設を進めています。1日に最大約3,000食分の食材調達や調理を行うとともに、新事務棟ならびに大型休憩所において配膳する予定です。
- 新事務棟の工事が10月に完了しました。今まで福島第二原子力発電所の構内で執務していた福島第一関係者全員が10月より新事務棟で業務を開始し、現場に密接した業務ができるようになりました。



建設中の大型休憩所



福島給食センター完成予想図

## 現場改善の取り組み例

- 福島第一構内で働く作業員の熱中症予防として、「保冷剤冷凍庫の配備」、「スポットクーラー、大型扇風機の設置」、「移動式給水所の設置」などの対策を実施し、今期は休業をとらなう熱中症の発生を防ぐことができました。



スポットクーラー、大型扇風機

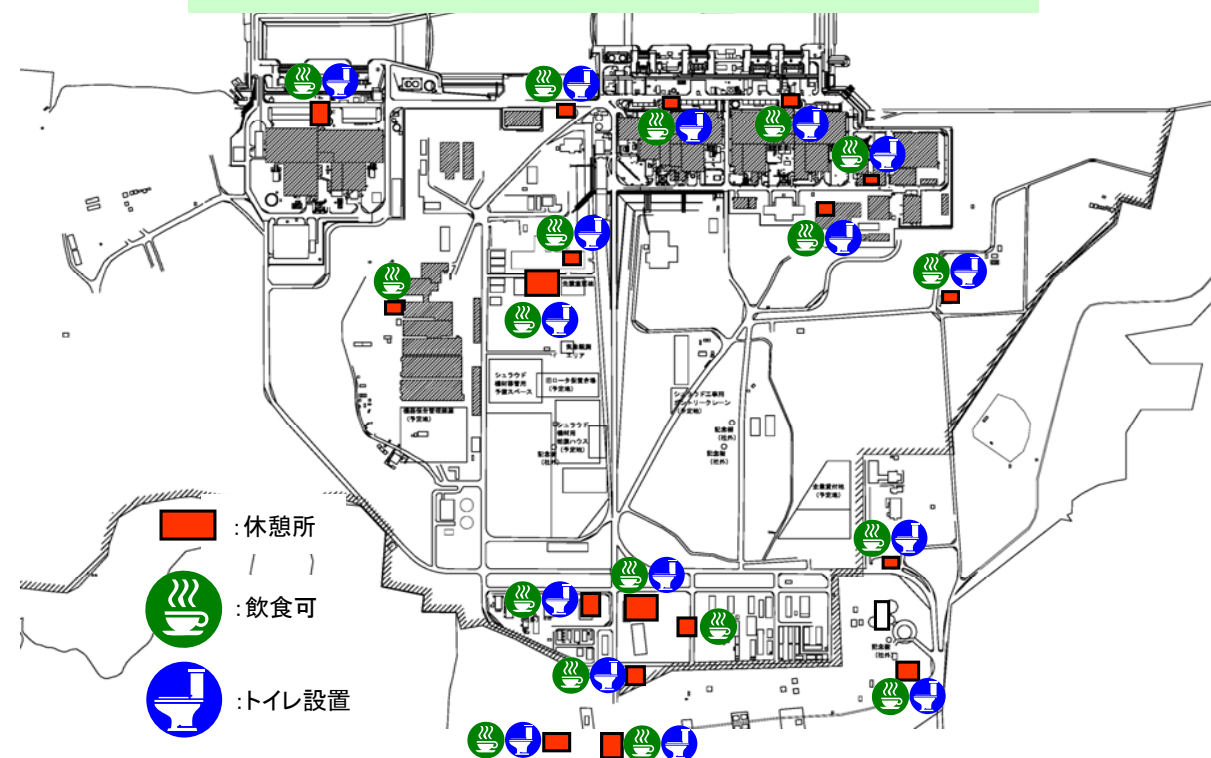


移動式給水所（多核種除去設備前）



- 下記18箇所に休憩所を設置しました（全箇所クーラー設置。H26.9.24時点）  
※下記以外にも、元請各社が設置している休憩所が38箇所（この内2箇所は飲食可能。8/27時点）

### マスクを外して飲食できる構内休憩所の設置



## 労働環境の改善に向けたアンケートの実施

- 福島第一で作業される方々を対象とした労働環境改善に向けたアンケート（第5回）を、平成26年8月から9月にかけて実施しました。アンケートの結果については11月下旬を目処にとりまとめております。
- 今後、いただいたご意見を基にさらなる労働環境の改善に活用していきます。